

## TAIWAN JAPAN

次代の学校国際交流  
を目指して



淡紅中学  
有名な八角塔校舎



士林夜一  
お祭りのような市場



淡水フィッシャーマン  
美しい斜張橋

# COLLABORATION\_14



## 歴史ある淡江中学で学校の文化交流をスタート

台北で一番美しい港町、淡水にある淡江中学はキリスト教の私立学校。戦前は長老教会を通じて同志社大学に留学生としてたくさんやってこられました。同志社大学で学んだある学生は、台湾に帰ってから教員になり、同志社で楽しんだラグビーを生徒達に教えていきます。その方はのちに淡江中学の校長となられた陳誠忠老師で、台湾では「ラグビーの父」と呼ばれています。グラウンドにもフットボールの銅像があったり、資料館には今出川のチャペルの写真、小学校には同志社のエンブレムの石碑があったりして、同志社とのつながりを実感します。半世紀を経て本校との交流が昨年度より始まりました。

2015年9月19日、今回、淡紅中学を訪れたのは9名。生徒同士の会話の基本は英語になりますが、しばらくすれば台湾の優しい発音の中国語が心地よくなってきて、挨拶程度の中国語も自然とできてしまいます。初日は、歓迎セレモニーを

未来の授業に  
国境はない  
国も年齢も超えて  
アイデアや学びを  
シェアする授業  
がやってきた

受け、早速ホームステイ。二日目は、遊園地を集合場所にしてグループ活動し、台北市内ツアーを行いました。

三日目は、日台合同授業として、淡江中学の生の授業に入れていただきました。英語の授業ではなんと「月餅餅」をつくるというアクティビティで、すべて英語で進められました。日本人9人それぞれが9班の中に入り、淡江中学の生徒と一緒に月餅餅を作りました。そして午後は、日本人の引率教員による「折板構造」の授業を行いました。日本人生徒はすでにその内容は1年時に体験済みで、淡江中学の生徒を直接サポートする役割を任せられました。前回、前回日本に来られたときも淡江高級中学の生徒が黄先生の授業をサポートして直接日本人生徒に教えてくれていたことを思い出しました。そして、つづいて蔡其穎先生の中国語の授業でしたが、日本人生徒と淡江中学生徒がなかよくなれるような自己紹介のアクティビティに授業内容をアレンジしてくださって、日本人生徒も楽しめる時間となりました。そして、夜は淡江高級中学のみなさんが士林夜市を案内してくれて、台湾の文化の一面を味わうことができました。

最終日は保育コースの授業を体験しました。保育園や幼稚園で行うであろう教材を高校生が体験する授業なのですが、まさにそのものの授業に参加させていただき、綺麗な作品をみなさんは作りました。そして運動場にある壁をよじ登るロッククライミングにも参加させていただきました。ロープを支えるパートナーが最も大切です。登り終わったあと、自然と「謝謝 (xie xie)」ができました。午後は世界の宝が保管されている故宮博物館を見学。あの「白菜と豚の角煮」も見ることができました。人間業とは思えない緻密な彫刻をはじめ数々の国宝を見ることができた。夕方からお楽しみの士林夜市に行った。夜市とは日本でいうお祭りのような雰囲気を楽しめる市場。所狭しと屋台やお店がならび、見ているだけでも楽しかった。

## 学校と国際社会をつなぐ

ビジネスの現場では、アジアの国の会社と上手くコミュニケーションをとりながら協同で商品開発や製品生産や流通が行われています。そんな原体験をこの授業で体験できたら...。これが、アジアものづくり授業プロジェクトの原点なのです。(沼田)

出番を感じて本当に  
がんばってくれた淡  
江高級中学の生徒の  
皆さん



次は

同志社中学にてお  
待ちしています！！



